

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2000-131191 (P2000-131191A)
 【公開日】平成 12 年 5 月 12 日 (2000.5.12)
 【出願番号】特願 平 10-334882
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 M 11/02

G 0 1 M 11/00

【F I】

G 0 1 M 11/02 B

G 0 1 M 11/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 17 日 (2005.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光手段と受光手段を持ち、かかる発光手段と受光手段の間に被検レンズを挿入することにより、該被検レンズの透過率を測定する光学系を有したレンズメータにおいて、

該透過率に用いる前記発光手段に紫外光 L E D を用い、前記被検レンズの紫外光領域の前記透過率を算出する算出手段と、該算出手段による前記透過率を表示する表示手段を有したことを特徴とするレンズメータ。

【請求項 2】

前記紫外光 L E D の波長が、紫外光領域の上限領域である 3 5 0 ~ 4 0 0 n m であり、かかる波長を有する該紫外光 L E D からの光の前記透過率を算出して表示する請求項 1 記載のレンズメータ。

【請求項 3】

レンズメータ本体のレンズ受下方において、前記被検レンズを挿入できるように空間が設けられており、この空間に挿入配置された該被検レンズを対象として前記透過率を測定する請求項 1 又は 2 に記載のレンズメータ。

【請求項 4】

前記紫外光 L E D からなる光源と、該光源から投射されて前記被検レンズを透過せしめられた測定光束を受光する光電変換素子とを含んで構成された、前記透過率を測定する光学系を、該被検レンズの光学特性を測定する光学系とは別に設けた請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載のレンズメータ。

【請求項 5】

前記被検レンズの光学特性を測定する光学系の投射光学系にハーフミラーを加えて、該光学特性を測定する光学系の光源と、前記紫外光 L E D からなる光源とを切り換えることにより、該被検レンズの光学特性を測定する光学系と該被検レンズの前記透過率を測定する光学系とにおいて、該被検レンズを透過した測定光束の受光側の光学系を別に設けずに共用した請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載のレンズメータ。